

中野こども病院ニュース

平成30年4月10日発行 第56号

中野こども病院から患者保護者の皆様へ“今知ってほしい”情報を発信します

入園入学の季節です



この時期入園されたお子様が発熱や、咳・鼻水の症状で多数来院されます。1週間で園に行くことができたのは1日だけ、元気に登園したけど発熱してすぐに呼び戻されたなど…入園したのになかなか行くことができない！と訴えられる保護者をよくお見かけします。お子様は集団生活によってウイルスに負けない抵抗力を獲得していきます。だんだん病気をしなくなるのはそのためです。

この時期はお子様も保護者も大変ですが、当院併設の**病児保育室**がありますので是非ご利用下さい。予約が必要ですが登録しておけば病気のお子様をお預かりすることができます。（病児保育の詳細は裏面に記載しています）

【すぐに受診が必要な症状は？】

こどもたちの日常生活は**くう（食べる）ねる（睡眠）あそぶ（遊び）が基本**です。これがままならない時は、こどもたちの体調に異変が起こっている可能性があります。逆に熱があっても、くう、ねる、あそぶができていればあわてて受診する必要はないわけです。

では、夜間でもすぐ受診すべき症状はなんでしょう？顔色がすごく悪い、呼びかけても反応が弱い、呼吸が苦しそう、けいれんが5分以上止まらない、が当てはまります。これ以外では何度もおう吐する、腹痛がだんだんひどくなるなども受診が必要ですね。

【気をつけなければならない病気は？】

集団生活を始めると気をつけなければならないのは、流行性の病気です。これは季節によって特徴があります。春から初夏にかけては**ロタウイルス**が流行ります。かつては冬の病気と思われていましたが、最近はこの時期が最も多くなっています。夏場はいわゆる夏かぜといわれる**ウイルス感染**が流行ります。プール熱や流行性結膜炎、手足口病、ヘルパンギーナなどです。いずれも唾液や接触で感染するので、集団の中で流行りやすいです。秋からは特に乳児では**RSウイルス**が要注意です。冬になると**インフルエンザ**と**ノロウイルス**による胃腸炎が流行します。各々の園や学校での流行状況をキャッチするようにしましょう。予防接種があるものは積極的に受けましょう。予防の基本は手洗いです。自宅でも上手に手洗いが出来るように家族全員で行って習慣づけができればよいですね。

嘔吐や下痢の症状で来院される患者様が多数来院されています！！

ロタウイルスの検出が続いています。嘔吐や下痢を引き起こすウイルスにはアルコール消毒は効果がありません。こまめな手洗いを心がけましょう。

※嘔吐があるときの水分や食事の摂らせ方

お子様が吐いたあとに欲しがるからといって**すぐに水分を与えると、嘔吐を繰り返してしまい逆効果です**。嘔吐してから30分から1時間は何も与えず、吐き気がおさまったらスプーン1杯の水分からはじめ、少しずつの量を回数多く根気よくあげてください。与える水分としては経口補水液が有効です。食事は本人が欲しがるもので大丈夫です。

※吐き気止めの座薬を有効に使いましょう

嘔吐が何回も続くとお子様は体力をとんでも消耗します。グタッリして脱水も進んでしまいます。吐き気が強い時に吐き気止めを使って、吐き気が落ち着いたら水分を少しずつあげてみましょう。**本人がたくさん欲しがっても、絶対に少しずつです！！**

当院の流行状況

RSウイルスが乳児を中心にまだ検出されています。赤ちゃんがいる家庭では引き続き注意が必要です。

ロタウイルスが検出されています。嘔吐で来院される患者様も多数いらっしゃいます。感染力が強いため注意が必要です。

ヒトメタニューモウイルスが検出されています。まだ検出されており、流行は続きそうです。RSウイルスと似たような症状で、肺炎や気管支炎などを引き起こすウイルスであり今もっとも注意が必要です。

インフルエンザA、B型はほとんど検出されなくなりました。このまま終息するでしょう。



〒535-0022 大阪市旭区新森4-13-17
社会医療法人 真美会 中野こども病院
TEL: 06-6952-4771
<http://www.nakano-kodomo.or.jp>

病児保育室ご存知ですか？ 大阪市病児・病後児保育事業

当院には併設型のアリス病児保育室があります。病気のお子様を保育看護する保育室のことです。

【年齢は？】

生後3カ月～小学校6年生までのお子様です。定員12名です。

【利用できるのは？病中、病後って？】

入院を必要としない状態で、病児保育が必要と医師が判断した病気が対象となります。
(熱、咳、嘔吐、下痢、水ぼうそう、おたふくかぜ、インフルエンザなど)

【利用時間は？】

月曜日～土曜日 8:00～17:00 延長保育 17:00～18:00



利用方法

- 事前登録をします(登録無料)※当日登録は利用できません
 - 病児保育室窓口で平日9:00～11:00もしくは12:00～16:30の間で登録できます。それ以外の時間は病院受付へ登録用紙を提出してください。但しこの場合は仮登録となりますので翌日の利用はできません。
 - 利用には予約が必要です(前日から予約可能です)
 - インターネット予約か電話にてお申込みください。
 - 予約時間について
ネット予約・・・前日朝8時～翌朝7時 電話予約・・・13:00～16:00(平日)
 - ※ネット予約の場合、登録番号が必要となります。詳しくはホームページをご覧ください。
 - キャンセル待ちの場合、当日の朝8時過ぎまで病児保育室からの利用確認の連絡をお待ち頂きます。
病児保育室 TEL06-6952-4561 (8:00～17:00)
 - 医師の診察があります(診察時間 8:00～8:30もしくは9:00～9:30の間に診察を受けて下さい)
 - ※8:30～9:00の間に来院されますと待ち時間が生じる場合があります。ご了承ください。
 - 病状連絡表を記入の上、病院受付に提出してください
 - お子様の症状によっては検査・治療を行います
 - 他院の薬を内服する場合は、当院医師の確認が必要となりますので、診察時に申し出てください
 - 受診後病児保育ファイルをお渡ししますので、お持ちになり病児保育室へお越しください
 - 看護師、保育士が責任を持ってお預かりします。
 - 医師の回診があり、急な病状の変化があった場合も適宜医師が診察を行います。
 - 保育中に病状が悪化した場合、お迎えに来て頂く場合があります。
 - 病児保育の精算は病院窓口でお願いします
 - 先に精算を済ませてからお迎えにお越しください
- 1日利用料 ※大阪市内在住の非課税世帯の方は減額があります
大阪市内在住・・・3,000円 大阪市内外在住・・・4,500円(昼食・おやつ・寝具リース代含む)
延長料金 17:00～17:30 200円(市内) 700円(市外)
17:00～18:00 400円(市内) 1400円(市外)

持ち物

着替え(3組ぐらい)・下着・食用エプロン・タオル2枚・バスタオル・ビニール袋・紙おむつ・哺乳瓶
通園保育園連絡ノート・母子手帳・お薬手帳など **★持ち物には全て名前を記入してください**



当院を受診される患者保護者様へ

- 駐輪場が病院北側にあります。自転車で来院の際はご利用ください。
- お車で来院される際は、病院南側の立体駐車場をご利用ください。病院受診時や面会時にも無料でご利用いただけます。詳細は常駐している警備員にお声かけください。近隣のご迷惑になりますので路上駐車は絶対におやめください。
- 病院本館東側に車寄せがあります。患者様の乗り降ろしや、入院時の荷物の運搬やお迎えなどにご利用ください。なお、長時間の駐車はご遠慮ください。
- 待合の椅子には限りがあります。子どもたちが座れないことがないように、混雑時は譲り合っておかけ下さい。少しでも待合に多くの患者様が座って頂けるよう、ご協力宜しくお願い致します。
- 当院は全館禁煙、敷地内も禁煙となっております。病院の外で喫煙されても煙が病院内に入ってくることもありますので、病院周辺での喫煙もご遠慮ください。また、たばこのポイ捨ても絶対にしないでください。病気で来ている子どもたちのためにもご協力よろしくお願いします。
- 診察、検査、処置が終わるまで飲食はご遠慮ください。もどしたり、咳込みの原因になります。
- 駐輪場側の入り口横に売店が出来ました。是非ご利用下さい。